

タイトル	地域と共に行なう、下校中災害時避難訓練
名称（学校・地域）	諏訪市立 四賀小学校
日時・場所等	各地区公民館等、一次避難所
ホームページアドレス	



地域の皆さんと共に考え、子どもたちを見守っています

信州型コミュニティスクールの活動の一つとして、「見守り隊」「ちょボラ」など、登下校時や帰宅後の子どもたちの安全を地域の方に見守っていただいています。その中の一つに学校と地域が連携して行なう「下校中災害時避難訓練」があります。

四賀の子どもの安全を守る会

各地区長、民生児童委員、社会福祉協議会、警察ボランティア、老人クラブ、PTA、中学校代表、学校地区担当職員等で組織されている。子どもたちの安全を確保するために、年2回の会議を開き、子どもたちの安全に関する課題を検討していただいている。

下校中災害時避難訓練の計画・実施

本校は、通学路に急傾斜地を多くもつため、東日本大震災を契機に、登下校中の子どもの安全確保が課題となってきました。平成24年度から「四賀の子どもの安全を守る会」で検討を重ね、平成26年度初めて『下校中災害時避難訓練』を実施しました。平成26年27年度は、『児童が集団下校中に自分の地区の近くで地震が発生した』という想定で実施しました。通学路で自分の身の安全確保をし、その後、各地区の一次避難場所（公民館等）へ避難。児童一人一人が避難者名簿に記入し、学校職員が駆けつけるまでその場に待機しているという避難訓練でした。大勢の地区の皆さんが各地区の避難場所に集まり、公民館を開たり避難者名簿の記入の練習をするなど、子どもの安全確保のために協力してくださいました。

その中から、「下校中は自分の地区以外の避難所への避難もありうる。その訓練が必要。」とご意見をいただき、3回目になる本年度は、地震発生 of 想定時間を決めて実施しました。地震発生 of 場所から避難する一次避難所を、子ども自身が判断し、実際に避難するという訓練でした。

見えてきた課題

「小さな公民館に全校の半数の児童が避難し待機場所が狭く困った。」「避難者カードへの記入に非常に時間がかかったり電話番号や保護者氏名が書けなかったりした。」「地域の方も駆けつけた職員もお互いが確認できず連携が取れない。」等たくさんの課題が見えてきました。

この訓練から見えてきた課題を大切に一つずつ地域と学校が連携して解決し、より実際に近い訓練を検討しています。

